

久万高原町 防災マニュアル



防災・減災は
ご近所との
助け合いから

～山あいの町の、防災・減災ポイント～



久万高原町
イメージキャラクター
ゆりぼう

いのちを守るための
情報です！
必ず中身に
目を通しましょう



それは大きな間違いです。
 まだ、久万高原町は安全だと思っ
 ていませんか？



目次

第1章 近いうちに必ず起きる巨大地震！

1. 甚大な被害をもたらす南海トラフ巨大地震…………… 2
2. 久万高原町で予想される揺れ震度6強…………… 3
3. 中央構造線断層帯で直下型地震が発生すれば巨大地震に！…………… 3

地震対策は揺れ対策

1. 築30年以上の木造住宅は耐震診断が必要…………… 4
2. まずできること、家の中の安全対策…………… 5
3. 家のまわりの安全対策…………… 5

もしも地震が起こったら…!!…………… 6

第2章 豪雨が土砂災害と水害を引き起こす

1. 異常気象によるゲリラ豪雨が頻発する…………… 8
2. もろい地質と急峻な地形のため山が崩れやすい…………… 9
3. 土砂崩れに伴う河道閉塞が起こりやすい…………… 9

土砂災害と水害から身を守るには

1. 土砂災害…………… 10
2. 水害…………… 11

第3章 大規模小規模の集落孤立は必至！

1. 集落の孤立はこうして起こる…………… 12
2. 物資の備蓄で孤立に備える…………… 12
3. 集落が孤立した時の連絡方法は？…………… 13
4. 高齢の避難生活者への対応…………… 13

「もしも」のために「いつも」の備え

1. 非常持ち出し品をリュックに…………… 14
2. 1週間分を目安にローリングストックを!!…………… 15

第4章 地域ので防災を！

自分たちの命は自分たちで守る

1. 自主防災組織の防災訓練に参加…………… 16
2. 自分たちの町を守る活動…………… 17
3. 家族で防災会議を…………… 17

身に付けておきたい応急手当

1. いざというときの応急手当…………… 18
2. 命をつなぐ救命処置…………… 19

避難場所への避難ポイント

1. 避難の判断とタイミング…………… 20
2. 避難時のポイント…………… 20

避難所、避難地一覧…………… 21



久万高原町
イメージキャラクター
ゆりぼう

防災は、自分や家族の日々の暮らしを振り返り、
 その中で危険を予測し備えることから始まります。
 久万高原町に住む私たちの防災・減災について、
 いっしょに考えてみましょう。



専門家から久万高原町のみなさんへ

一人一人が複合災害に備える

21世紀は災害の世紀と言われています。地震災害、豪雨災害（浸水害・土砂災害）、そしてコロナ災害が加わりました。それぞれの災害の危険性について考えてみます。

今後30年以内に80%の確率で発生が想定されている南海トラフ地震、もし巨大地震ならば、県内で16,000人の犠牲者が想定されています。それらの内訳は、県内沿岸部で津波によって8,200人、県内全域で古い建物の倒壊により6,200人、地震の後発生する火災で1,600人です。久万高原町の被災状況は、どのようになるでしょうか。久万高原町には海がないので、津波で亡くなる人はゼロです。しかし、大きな揺れに伴う建物倒壊によって犠牲者が発生することが想定されています。旧耐震（1981年5月以前）の建物は耐震診断が基本となりますが、全ての住宅で家具を固定しましょう。地震対策は揺れ対策です。大きく揺れても家や家具が倒れなければケガすらしません。

次は、豪雨対策です。自宅の近くに川があれば、氾濫するかもしれない、山があれば崩れるかもしれないといったイメージを持つことが大切です。豪雨災害は地震災害と違って突発災害ではありません。気象情報、土砂災害に関する情報、河川の水位情報、行政の避難情報を収集し、早めの避難行動を心がけましょう。大雨時の夜間など、避難行動そのものが危険な場合は、垂直避難（自宅や近所の2階以上への避難、土砂災害の場合、山から離れた部屋への避難）といった臨機応変な対応をお願いします。

最後は新型コロナウイルスの対応です。非常持ち出し袋の中に、マスク、消毒液、体温計を入れておきましょう。なるべく、避難所に避難しない方法、例えば、親戚・知人・友人宅への避難や、車中泊避難（ただし、足を伸ばして寝る工夫が必要）等、家族で話し合ってください。

国内では、少子高齢化が進み、災害時に一人で避難できない住民も増えていきます。地域で声をかけながら、みんなで災害に備えましょう。

愛媛大学 防災情報研究センター 副センター長 二神 透



近いうちに必ず起きる巨大地震!

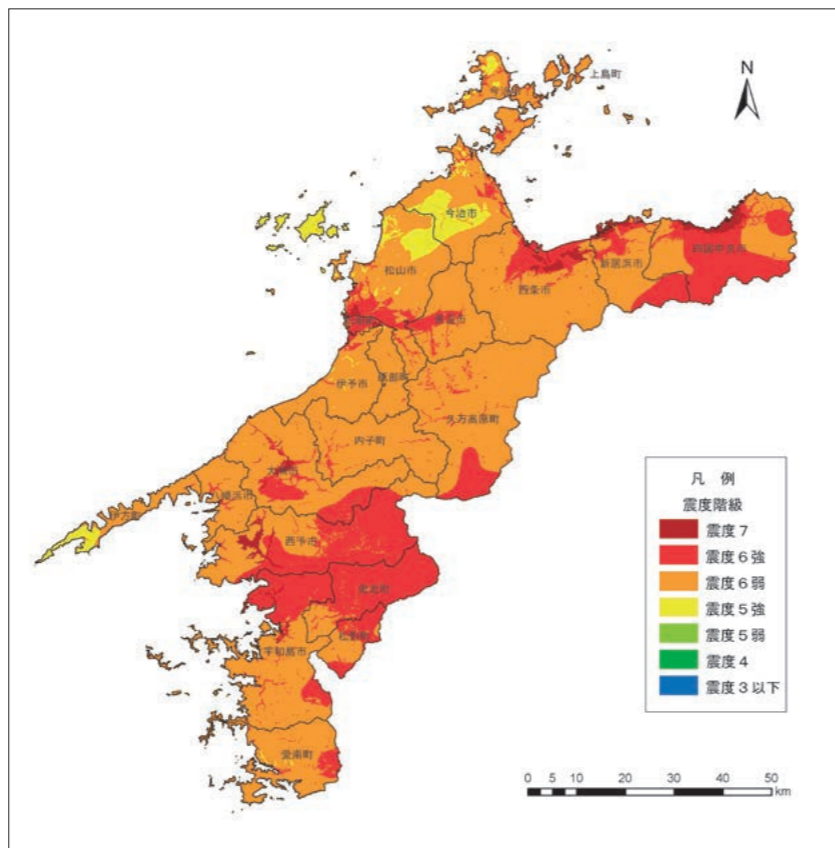
これまで災害の少ない地域だといわれてきた久万高原町ですが、これは大きな間違い。まずは、将来起きるであろう災害の姿を知ることから始めましょう。

甚大な被害をもたらす

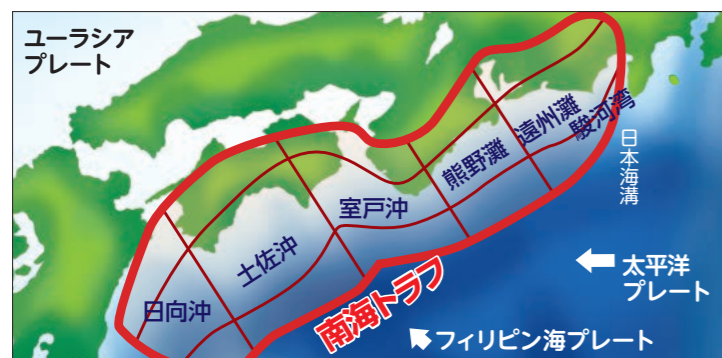
1. 南海トラフ巨大地震

南海トラフとは、日本列島のある大陸プレートの下に、南側からフィリピン海プレートが沈み込んでいる場所です。年間数cmの割合ですむ沈み込みに伴って2つのプレートの間にはひずみが蓄積され、100~200年の間隔でそのエネルギーを解放する大地震が発生しています。

発生の姿はその都度異なり、南海トラフ全体が破壊される最大クラスの地震から、それらの一部だけが破壊される場合まで様々ですが、ひとたび発生すれば甚大な被害をもたらすことには変わりはありません。国では、従来のように地域をわけることなく、南海トラフ全体を一つの領域と考えて、地震発生の可能性を出しました。それによると、30年以内に発生する確率が「70%~80%」と大変高い数値になっています。



南海トラフ巨大地震(海溝型地震)の位置



▲南海トラフは日向沖~土佐沖~室戸沖~熊野灘~遠州灘~駿河湾にある。
※愛媛県に関わる海溝型地震には、安芸灘~伊予灘~豊後水道のプレート内地震の可能性も想定されています。

想定される地震規模:	マグニチュード 8~9 クラス
30年以内に発生する確率	70%~80%
平均発生間隔	88.2 年

久万高原町で予想される揺れ 2. 震度6強

愛媛県は想定される地震規模をマグニチュード9.0と想定し被害想定を発表しました。久万高原町の最大震度は6強。そして想定される被害を右のように推計しています。古い木造家屋の多い久万高原町では揺れによる建物被害が大きく、その結果、多数の死傷者・避難者の出ることが懸念されます。

南海トラフ巨大地震による久万高原町の被害想定

平成25年12月26日愛媛県危機管理課発表 [地震規模] 愛媛県地震被害想定調査結果(最終報告)から一部抜粋 マグニチュード9.0 冬を想定

震度	6強	
建物被害	全壊棟数	1,082棟数
	半壊棟数	3,811棟数
人的被害	死者数	68人
	負傷者数	879人
避難者数	1日後	1,401人(うち避難所に841人が避難)
	1週間後	2,652人(うち避難所に1,326人が避難)
要配慮者数	265人	
帰宅困難者数	829人	

ライフライン被害

上水道	断水人口	6,618人	断水率	87.5%
電力	停電軒数	6,252軒	停電率	99.9%
固定電話	不通回線数	10,450回線		99.9%

高齢の方や障がいのある方、乳幼児などで災害時に配慮が必要な方を要配慮者といっています。

3. 中央構造線断層帯で直下型地震が発生すれば 巨大地震に!


内陸にある活断層がずれて起こる地震のことを直下型地震と呼びます。阪神・淡路大震災を引き起こしたのもこれ。海溝型地震と比べると規模は小さいですが、陸地や陸地近くで起きるため、甚大な被害を招きます。

愛媛県には東西に中央構造線が走っており、いくつかの活断層が知られています。石鎚山脈北縁西部-伊予灘の断層帯で起こるずれでは、久万高原町で最大震度6弱の地震が起こると想定されています。

直下型地震が想定される中央構造線断層帯



地震による揺れ ※気象庁震度階級関連解説表より作成。震度階級5強以下は記載を省略。

震度	震度6弱	震度6強 南海トラフ巨大地震で予測される揺れ	震度7
人の体感行動	立っていることが困難になる。		揺れに翻弄され、動くこともできず、飛ばされることがある。
屋内・屋外の状況	固定していない家具の大半が移動し、倒れる物もある。ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。	ほとんどの固定していない家具が移動し、倒れるものが増える。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばされることもある。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する建物がさらに多くなる。
建物や道路が...		耐震性の低い木造建築は、倒壊の危険性が高い。倒壊まで至らないものも傾いたり瓦などの落下が起こる。鉄筋コンクリート造建物は壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入る。がけ崩れや地すべり、ガス供給の停止、断水・停電、電話など通信障害が発生。中山間地域の小・大規模孤立が発生する。	

地震対策は揺れ対策

阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊・家具の転倒によって8割強の犠牲者が出ています。自分の住む家を、地震に強い安全な場所にしておくことが、一番身近で重要な防災対策です。



(一財)消防科学総合センター

1. 築30年以上の木造住宅は耐震診断が必要

1981(昭和56)年5月以前に建てられた家は耐震診断をしましょう。

- 2階部分が大きいバランスの悪い建物
- 基盤や地盤が悪い敷地に建てられている建物
- 壁や基礎にひび割れがある建物
- 木造で白アリ被害などで木材が腐っている

耐震診断は、ホームページから手軽にできる診断(※1)と、専門家が行う耐震診断があります。
(※1) (一財)日本建築防災協会 <http://www.kenchiku-bosai.or.jp>

部分的な改修方法などで耐震補強

改修が必要になった場合、建て替えには費用がかさみます。家全体の改修工事をするのではなく、建物の弱い部分を補強する簡易補強の方法や、「耐震シェルター」なら、費用も低く抑えられます。

地震保険の備えも

万が一被災した場合、住宅の再建・補修、生活再建には資金が必要になります。政府と損害保険会社が共同で運営している「地震保険」に入っていると、地震による損害に対して保険金が支払われます。災害時の経済的な備えも、事前に家族で話し合っておきましょう。

「自宅の耐震性強化」で被害を軽減

地震下 自宅が倒壊すると

- ・圧死
- ・避難路を塞ぎ避難が困難に
- ・火気器具・電気器具から出火 → 延焼の拡大に繋がる
- ・長期間の避難所生活

揺れによる建物被害(全壊)		建物倒壊・火災による人的被害(死者)	
揺れによる建物全壊棟数(現状)	107,554棟	建物倒壊・火災による死者数(現状)	7,431人
揺れによる建物全壊棟数(対策後)	約 1/10 10,831棟	建物倒壊・火災による死者数(対策後)	約 1/19 401人

※愛媛県内の数値を記載。愛媛県危機管理課資料抜粋

町で木造住宅の耐震診断に6万円改修に100万円の補助

募集戸数(予定)
耐震診断10戸・改修2戸

【町内登録業者】
白岡二級建築設計事務所(TEL 21-2296)
日野建築設計事務所(TEL 21-0452)

上記の2社が町内で耐震診断登録事務所の登録業者。診断費用は約4万~10万円。補助制度を利用する場合は事前に申請が必要。

町内では1981(昭和56)年5月31日以前に着工された木造住宅を対象に耐震診断・耐震改修費用の一部を補助しています。補助の期間など詳しくは建設課(TEL21-1111)へお問い合わせください。

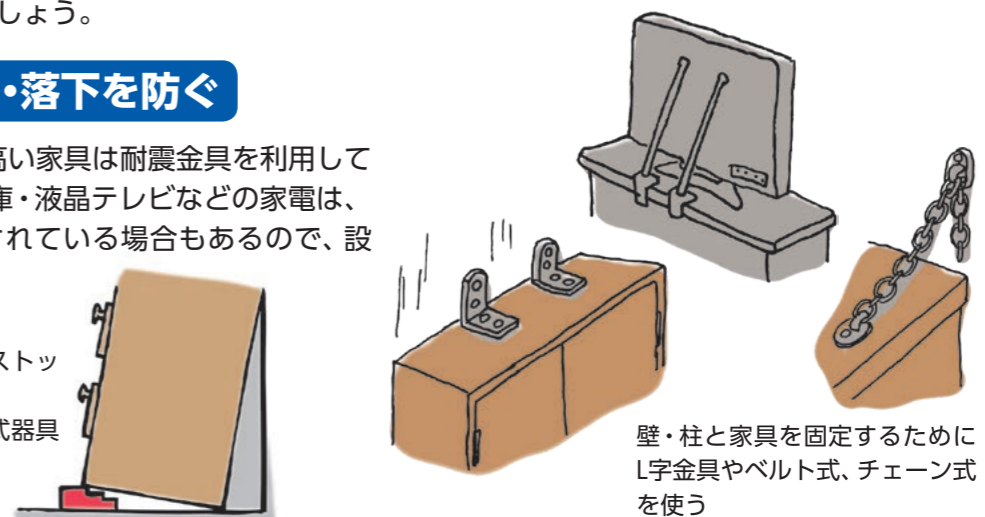
2. まずできること、家の中の安全対策

建物が無事でも家具などが転倒すると、下敷きになってけがをしたり、逃げ遅れてしまう場合があります。家の中での被害を防ぎ、いざという時に安全な逃げ道を確認できるよう、日頃からチェックしておきましょう。

1 家具・家電の転倒・落下を防ぐ

本棚・タンス・食器など背の高い家具は耐震金具を利用して固定しておきましょう。冷蔵庫・液晶テレビなどの家電は、専用の転倒防止金具が用意されている場合もあるので、設置する際に活用を。

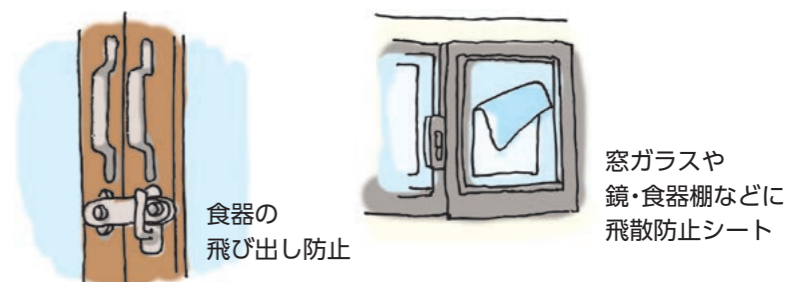
引き出しがある家具はストップパー式器具をつける
背の高い家具はポール式器具(つっぱり棒)をつける



壁・柱と家具を固定するためにL字金具やベルト式、チェーン式を使う

2 ガラスの飛散・食器の飛び出し対策

地震によって割れた窓ガラスの破片は、広範囲に飛散する恐れがあります。食器棚や鏡の他、陶器や花瓶など、割れやすい物の置き場所にも注意が必要です。



食器の飛び出し防止

窓ガラスや鏡・食器棚などに飛散防止シート

3 安全空間の確保

家の中に、安全な場所をつくっておきましょう。家族が長い時間を過ごすリビングに、倒れる物を置かないなど、家具の配置と普段からの整理整頓が重要です。



寝室に背の高い家具をおかない

4 消火器具の設置

「家庭用消火器」を設置しておくことも大切です。

3. 家のまわりの安全対策

外回りのブロック塀や石塀の倒壊は、近所の人や避難する人を傷つけたり通行の妨げになる恐れがあります。ベランダや屋根瓦などの家の外回りも日頃から注意しておきましょう。



(一財)消防科学総合センター

1 ブロック塀

基礎部分や鉄筋が入っていない物は補強を。ひび割れや傾き、鉄筋のさびがある場合は修理。



2 屋根

屋根瓦にひび割れ、ずれ、はがれがある場合は補強を。

3 ベランダ

植木鉢や物干し竿など落下の危険のある物は固定を。ベランダからも避難できるようにしておく。

もしも地震が起こったら…!!

平常時に自分や家族が被災する状況をできる限りリアルに想像し、シミュレーションをしておくこと、できる備えをしておくことで、いざという時に慌てず行動できるように準備をしましょう。

状況別 行動マニュアル

屋内にいたら

家の中ではケガをしないことを第一に! 普段から避難経路を意識して家具を配置するなどの工夫を。

身の安全を確保

テーブルの下で足をしっかり握る、布団をかぶる、クッションや枕で頭を保護するなど、まずは身の安全を守りましょう。



お風呂にいたら

まずは脱出口の確保をすること。浴室は落下物もなく比較的安いです。揺れがおさまってから服を着て避難します。もちろんお風呂の水は流さないで。



トイレにいたら

ドアを開けて出口を確保。水洗のタンクやタンクのカバー、棚の上から重いものが落ちてこないかなどに注意しながら、揺れがおさまるのを待って避難しましょう。



脱出口を確保

揺れが激しいと、ドアや窓が変形して開かなくなり、室内に閉じ込められることがあります。揺れの程度をみはからって、ドアや窓を開けて脱出路を作ること。**あわてて飛び出さず**状況をよく確かめ、揺れの程度をみはからって、ドアや窓を開け、脱出経路をつくりましょう。



屋外にいたら

人の多いところほどパニックになりがち。まずは落ち着いて行動するよう心がけましょう。

海岸や川のそばにいたら

海岸近くにいたら、揺れの後の津波を警戒してすぐに安全な高台を目指しましょう。川のそばにいたら、流れに対して直角に避難をしましょう。



エレベーターの中にいたら

すべての階のボタンを押し、最初に止まった階で周囲の安全を確認しつつ降りましょう。



車を運転していたら

ハザードランプを点灯させて徐々にスピードを落として道路の左側に停車。エンジンを切り、揺れがおさまるまで車外に出ず、ラジオから情報を入手。車にキーをつけたままにして、ドアをロックせずに避難しましょう。



電車やバスの中にいたら

座席に座っていたら、姿勢を低くしてバッグなどで頭を保護しましょう。立っている場合も頭を守りながらできるだけ姿勢を低くし、掴まるものがあれば体を支えましょう。



初期消火はこうする

消火器の使い方

1 黄色の安全栓(ピン)を上引き抜く

2 ホースをはずして火元に向けレバーを握って消火

3 家庭用消火器は射程距離が3~5m、噴射時間は10~15秒



消火器のない場合

天ぷら油



絶対に水をかけてはいけません。濡らしたバスタオルやシーツをかぶせて、天ぷら鍋の上にそっとかぶせて、鍋の大きさに合うフタをかぶせて火を消しましょう。火が消えても油の温度が高いうちは、ふたたび発火します。油の温度が下がるまで毛布やフタはかぶせたまま。

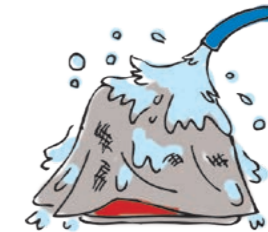
家電製品

先にコンセントを抜くかブレーカーを落として、消火します。



灯油ストーブ

ぬれたシーツをストーブの上から覆うようにかぶせるか、毛布や布団をストーブにかぶせて上から大量の水を一気にかける。



初期消火ができず、炎が天井の高さほどになったら消防に助けを求めて逃げてください。ハンカチやタオルなどで口・鼻を覆って、煙を吸わないように姿勢を低くして避難しましょう。

地震への備え

持ち出し品の準備

いざという時に必要なものを持ち出せるように、非常持ち出し袋を用意しておきましょう(P14参照)。持ち出し品の中に、以下の物があると便利です。



ローリングストック

普段使いの食品を多めにストックすることで、飲料水と食べるものを消費しながら備蓄すると、我が家独自の防災備蓄になります(P14~15参照)。



避難をするとき

避難時のガス・電気の対策

避難をするときは、ガスの元栓を閉め、電気器具はスイッチを切りコンセントを抜き、ブレーカーを落として家を出ましょう。



正しい情報入手

デマに惑わされず、ラジオなどで正しい情報の入手を心掛けましょう。

土砂災害と水害を引き起こす

愛媛の中で久万高原町は降雨量の多いエリアです。近年、各地で多発する集中豪雨は、久万高原町でも土砂災害や洪水のリスクを高めています。

異常気象による

1. ゲリラ豪雨が頻発する

近年、世界各地で増えている異常気象には、集中豪雨、台風の巨大化、竜巻、猛暑、豪雪などがあり、地球温暖化との関連性が指摘されています。

集中豪雨は、河川の増水や土砂崩れ、家屋の浸水、道路の冠水などの被害をもたらします。急峻な地形と脆い地質を持つ久万高原町では、土砂災害による甚大な被害も懸念されています。



7月豪雨(写真提供:久保建設)

雨の強さと降り方、災害発生の目安

気象庁ホームページでの発表(2000年8月作成、2002年1月一部改正)

1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険	
災害発生状況	この程度の雨でも、長く続く時は注意が必要。 	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の川が崩れが始まる。 	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市部では下水管から雨水があふれる。 	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。 	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質などの違いによって、被害の様子は異なることがあります。

2. 山が崩れやすい

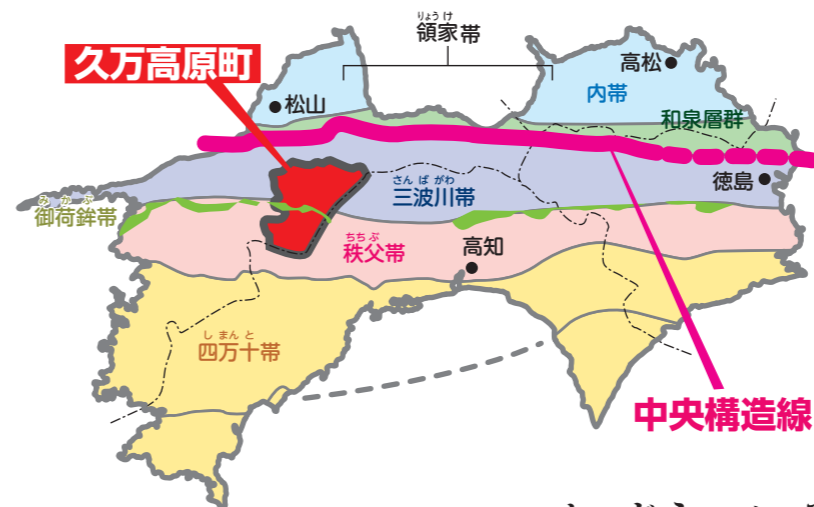


瀬戸新四国八十八箇所付近(写真提供:久保建設)

久万高原町は地質学的にみると、三波川帯と秩父帯が東西に走っています。

三波川帯の主な岩石である結晶片岩は、薄片状に剥離しやすい特徴を持っており、日本でも有数の地すべり発生地帯をつくっています。また、三波川帯と秩父帯に挟まれた御荷鉾帯も脆弱な岩石で構成されており、久万高原町には地すべりの危険地区が多く点在しています。

久万高原町は大変険しい地形の連続でもあり、脆い岩石と地層が分布するこの地域を豪雨や大地震が襲うと、土砂災害が起こる可能性が高いといえます。



3. 土砂崩れに伴う河道閉塞が起こりやすい



2011年台風12号による奈良県五條市大塔町赤谷の河道閉塞状況 資料提供/NPO法人 砂防広報センター

豪雨や地震によって大規模な土石流やがけ崩れが起こり、大量の土砂が川の流れをせき止めてしまうことを、河道閉塞(天然ダム)と呼びます。

河道閉塞が起こると、せき止められた部分の上流側では水がたまって池のようになり、周辺の家や道路が浸水する被害が出てきます。さらに、たまった水の圧力で土砂が一気に崩れると、大きな土石流となって下流域に被害をもたらします。

また、土砂が道路を防ぎ、アクセスを断絶することで集落の孤立を招きます。詳しくは第3章へ。

土砂災害の種類

がけ崩れ



山の斜面が雨水や地震などでゆるみ、突然崩れ落ちて、家屋や道路を押しつぶす災害。国内で最も発生件数が多い。

地すべり



斜面の一部あるいは全体がゆっくり下方にすべり落ちる現象。斜面上の家屋や樹木の倒壊、田畑の壊滅的被害が発生。

土石流



山腹や川底の土砂や石が、時速30~40kmの猛烈なスピードで一気に流れ下り、雪だるまのように膨らみながら家屋や道路を押し流す。

土砂災害と水害から身を守るには

土砂災害は、台風や長雨、集中豪雨などの大雨で地盤がゆるんだり、時に地震による揺れによって発生します。水害も、集中豪雨、梅雨前線の活動期、台風の通過時に起こりますので、気象情報に注意してください。

1. 土砂災害

土砂災害発生のおそれのある地区は「土砂災害危険箇所」とされています。普段から自分の家が「土砂災害危険箇所」にあるかどうか確認しておきましょう。

土砂災害の前兆現象(サイン)に注意

土砂災害には前兆現象がよく見られます。大雨の時、以下のような現象を発見したら、役場に連絡をしてすみやかに避難しましょう。土石流の速度は時速30~40kmにも及びます。発生してからでは間に合わないので、予兆に十分注意すること！

がけ崩れの前兆

- がけにひび割れができる
- がけから小石がパラパラ落ちる
- 地鳴りが聞こえる
- 湧き水が濁る、止まる
- がけから水が湧き出る



地すべりの前兆

- 地面にひび割れ・陥没が起きる
- 地下水や湧水が濁る
- 地鳴り・山鳴りがする
- 斜面から水が噴き出したり、樹木が傾く



土石流の前兆

- 川の水が濁り、流木が混じり始める
- 雨は降り続けるのに川の水位が下がる
- 山鳴りがする
- 木立の裂ける音がしたり、石がぶつかり合う音が聞こえる
- 腐った土の匂いがする

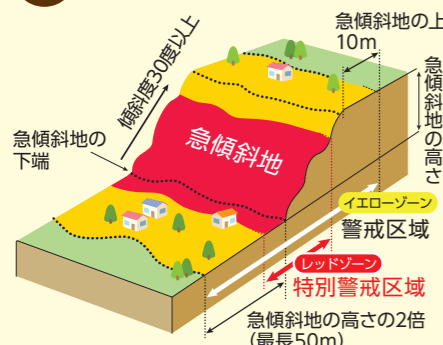


土砂災害防止法 イエローゾーンとレッドゾーン

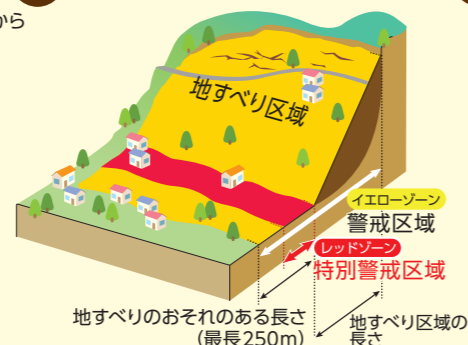
土砂災害防止法

土砂災害防止法とは、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について、危険の周知、警戒避難態勢の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転^{※1}促進等のソフト対策を推進しようとするものです。対象となる土砂災害は、「土石流」、「がけ崩れ」、「地すべり」があります。

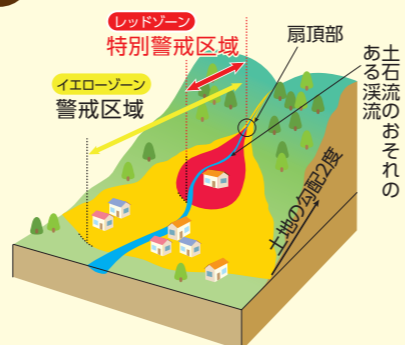
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



地すべり



土石流

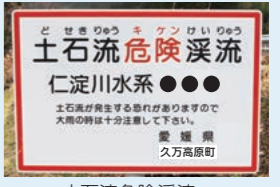


※1 土砂災害防止法による土砂災害のおそれのある区域には、急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民等の生命や身体に危険があると認められる区域の土砂災害警戒区域(通称イエローゾーン)と、建物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危険が生ずると認められる区域の土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン)の2つの警戒区域があり、土砂災害の種類によって範囲が定められています。

久万高原町内には、615の危険箇所がある！

久万高原町内の危険箇所の看板表示

久万高原町内の土砂災害危険箇所
→615カ所
土砂災害危険箇所保全人家戸数
→4,152棟



防災マップで確認しよう！

久万高原町は急峻な地形も多く、近年は集中豪雨が発生する頻度も高まっています。土砂災害の多くは雨が原因です。1時間の雨量20mm、連続雨量100mmが注意の目安です。久万高原町や気象庁などからの避難情報に注意し、特に高齢者や障がいのある方はできるだけ早めに避難をしましょう。道路の冠水などで避難が難しい時には、1階よりも2階の、山側からできるだけ離れた部屋にいきましょう。

2. 水害

川から離れている、高低差があるなどの理由で、水害への警戒が薄くなることは非常に危険です。

雨量によって、沢から溢れた水で道路が川のようになったり、避難路が寸断されることもあるので、いざというときは早めの避難を検討しましょう。



富重バス停付近(写真提供:久保建設)

水害の避難のポイント

運動靴をはこう。長靴は水が入って歩きにくいので危険。裸足も禁物。



流水や冠水の中で歩ける水深はひざぐらい。それ以上なら無理をしないで高い所で救助を待つ。

いざという時、居場所を知らせるための笛(ホイッスル)を持っておく。



自動車・自転車では避難しない。自動車は水に浸かると動かなくなったり低い水位でも水圧で扉が開かなくなったりして危険。



垂れ下がった電線には触らない。



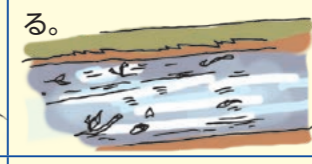
隣近所に早めに声をかけて、お年寄りや子ども、病人の避難に協力する。



非常持ち出し品は必要最小限にとどめ背負い、手を自由に使えるようにする。



増水時は流れが速く橋が壊れたり流されたりするので、川や橋に近寄らない、もしくは注意して橋を渡る。



二人以上で行動する。家族はロープでつながって歩く。先導者は長い棒を杖にして窪みや溝を確かめながら進む。

田んぼや用水路の見回りには行かない。



川では上流の山の天候に注意！真っ黒い雲が近づいてきたり、急に周囲が暗くなったり、雷鳴が聞こえたりするなど、天気が急変してきたら、急激に増水する恐れがあるので、川に近づかない。



大規模 小規模の集落孤立は必至!

大地震や豪雨により道路や通信が途絶すると、山間部では人の移動や物資の流通がとどこおる孤立化が起こります。久万高原町で最も懸念されるのが、この集落孤立。国道33号の大動脈が途絶すれば、町全体が陸の孤島になってしまいます。

1. 集落の孤立は こうして起こる

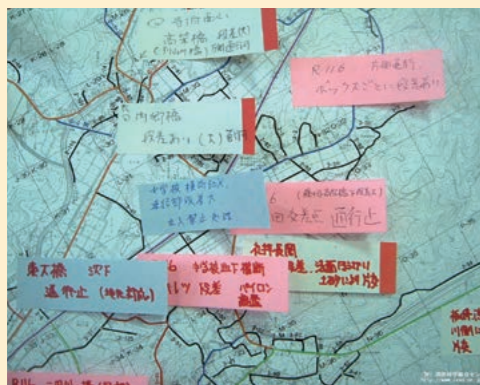
道路自体の崩壊、道路に堆積する土砂、トンネルの崩落や落橋などにより、集落に通じる道路が寸断されると、集落孤立が発生します。久万高原町は災害時に集落が孤立する確率が高いエリアです。国道33号を中心とした幹線道路が途絶されると、町が大規模に孤立化する事態も考えられます。

道路が寸断されると、救助部隊の進入や救援物資の輸送がままならず、ライフラインの復旧にも支障をきたします。加えて南海トラフ巨大地震では、あちこちで集落の孤立が起こると考えられるため、救援の手は自分の地域にすぐには来ないと考えて、対策を立てる必要があります。



愛媛県消防防災ヘリコプター

新潟県中越地震(平成16年)の場合



(一財)消防科学総合センター

- ◆大小約3,800カ所で、地震に伴う土砂災害が発生。小千谷市、旧山古志村など7市町村61地区で、1,938世帯が孤立した。
- ◆ライフラインの途絶や物資不足により、生活が困難になった。
- ◆固定電話の中継網の断線、携帯電話の基地局の通信ケーブルの断線や予備バッテリーの枯渇などで電話が利用不能になり、外部との情報が遮断された。
- ◆いくつかの集落は、余震が多発し、がけ崩れや地すべりなどによる二次災害の危険があることから、ヘリコプターによる全村避難を余儀なくされた。
- ◆地すべり等による河道閉塞(天然ダム)が起こって人家が水没する被害が発生。閉塞箇所の決壊による二次災害が懸念されたため、下流域の集落では避難が行われた。

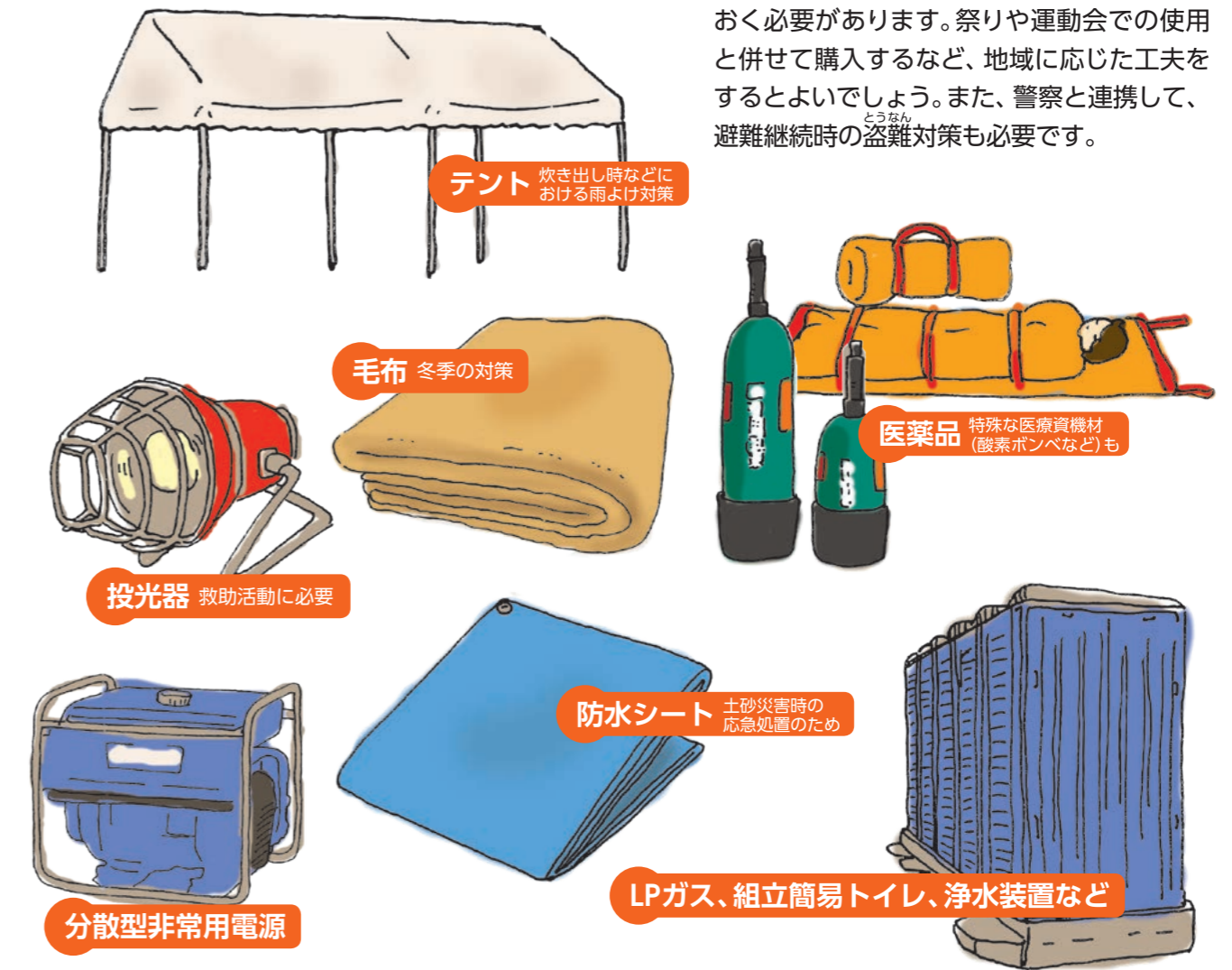
2. 物資の備蓄で 孤立に備える

外部からの支援がなかなか届かないと想定して考えましょう。家庭では水・食料・生活必需品をしっかりと備蓄しておかなければなりません(詳しくはP14へ)。本格的な支援が入るまで、自分たちで1週間程度は自立して生活する必要にせまられるでしょう。☑



(一財)消防科学総合センター

地域の備蓄例



テント 炊き出し時などにおける雨よけ対策

毛布 冬季の対策

投光器 救助活動に必要

医薬品 特殊な医療資機材(酸素ボンベなど)も

防水シート 土砂災害時の応急処置のため

分散型非常用電源

LPガス、組立簡易トイレ、浄水装置など

☑また、隣近所や自主防災組織では、集落孤立への対応を話し合い、備蓄方法を検討しておく必要があります。祭りや運動会での使用と併せて購入するなど、地域に応じた工夫をするとよいでしょう。また、警察と連携して、避難継続時の盗難対策も必要です。

3. 集落が孤立した時の 連絡方法は?

町内には、屋外の防災行政無線を利用して、通話ができる場所があります。その他の地区でも、孤立地区の発見と素早い通信を確保するため、町内のアマチュア無線有資格者有志で結成されている「久万高原町アマチュア無線非常通信協力会」と久万高原町が協力して、通信確保訓練を行っています。



4. 高齢の避難生活者への対応

久万高原町では、災害弱者である高齢者が多いので、避難生活にはさまざまな配慮が必要です。新潟県中越地震では、地震によるショック死、心疾患、脳疾患、疲労死、避難生活の長期化によるストレス疾患などにみまわれた高齢者が多かったので、次のようなケアを忘れないでください。



P14参照

「もしも」のために「いつも」の備え

避難所へ行くとき、必要なものをすぐに持ち出せるように準備しておきましょう。またライフラインが途絶えた状況で、自宅で避難生活ができるよう、家庭の状況にあわせた備えもしておきましょう。

1. 非常持ち出し品をリュックに

避難所での生活に最低限必要なものを、リュックなどのバッグに準備しましょう。中身が重すぎると避難に支障が出るので、男性15kg以下、女性10kg以下にまとめましょう。置き場所はいざという時に探さないよう玄関口・勝手口などすぐに持ち出せる場所に用意しましょう。



＼避難所へ行くときに!!／

非常持ち出し品リスト

食料関係	貴重品	日用品	衣類	感染症対策	高齢者	赤ちゃん	婦人用	その他
非常食・缶詰	現金	懐中電灯 一人1個(LEDや充電式のもの)	下着類	消毒液(シート)	入れ歯・入れ歯ケア用品	おしりふき・紙おむつ	生理用品	常備薬・お薬手帳
・ビスケット	車や家の予備キー	携帯ラジオ・電池式充電器	タオル	マスク	介護用紙おむつ(長時間用)	哺乳瓶・ミルク・発熱キット	スキンケア・オーラルケア	メガネ
・チョコレートなど	携帯電話	ポリ袋・ビニール袋・ラップ	防寒着	体温計	杖・折りたたみ椅子	絵本・ぬいぐるみ		
ペットボトル入り飲料水	通帳・印鑑	軍手	履き物(避難所での上履き)	体温計	杖・折りたたみ椅子			
	健康保険証・運転免許証(住所録のコピー)	トイレトペーパー・ウェットティッシュ		体温計	杖・折りたたみ椅子			
	懐中電灯 一人1個(LEDや充電式のもの)	筆記用具		体温計	杖・折りたたみ椅子			

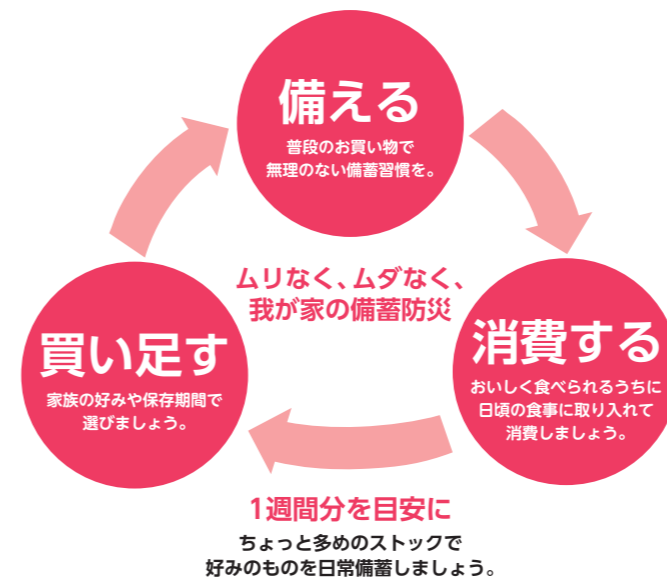
これは大事! / 『緊急連絡カード』

携帯電話が使えない時のために、家族や親戚、職場や学校の連絡先など緊急連絡先カードを作成して、普段から携帯しておきましょう。

乳幼児、高齢者、食事制限のある人の食べ物も忘れないで

- ・乳幼児がいる場合…粉ミルクと哺乳瓶、離乳食を用意。
- ・高齢者…ぱさぱさのものは飲み込みにくく、固い物が食べられない人も。おかゆのレトルトパックや介護食など柔らかくて食べやすい食品を用意。
- ・糖尿病・腎臓病・難病などの方、アレルギー体質の方…それぞれの状態にあった備蓄品を用意。

2. 1週間分を日々にローリングストックを!!



ローリングストックの目安は、7日分×人数!

ローリングストックとは、食べた分だけ、新たなストック食材を買い足すことでできる食糧の備蓄のことです。大規模災害を想定すると道路や水道などのライフラインが寸断され、久万高原町では広域または多数の地域で孤立集落が発生する可能性があります。ライフラインが復旧し水や食べ物などを新たに入手できるまでを凌ぐための備蓄を、ローリングストックの考え方で無理なく無駄なく習慣化しましょう。



大人1人分1週間の食料目安

※農林水産省「家庭用食料品備蓄ガイド案」参照

主食

- 米(精米または無洗米) …… 9食分 ※市販の2kgで約9日分
- レトルト食品 …… 7パック
- パン(食パン) …… 1食分
- 乾麺(うどん・パン・パスタ) …… 2食分
- 即席麺・カップ麺 …… 1個
- シリアル類 …… 1食分

主菜

- 肉・魚・豆などの缶詰 …… 11缶
- レトルト食品 …… 7パック
- 高野豆腐 …… 2食
- 乾物(かつお節・桜エビ・煮干し等) …… 適量
- ロングライフ牛乳

副菜

- 野菜・山菜・海藻類…タマネギ、ジャガイモ、にんじんなど常温で日持ちする野菜
- 切り干し大根、干し椎茸、乾燥ネギなど乾燥野菜
- 野菜ジュース
- のり、乾燥わかめ、乾燥ひじきなど
- 汁物…インスタントみそ汁、即席スープなど
- 果物…缶詰(もも、みかん、パイナップルなど)、果汁ジュース、バナナ、りんごなど常温で日持ちする果物

その他

- 調味料…塩、砂糖、みそなど
- 嗜好品・菓子類…緑茶、コーヒー、紅茶、チョコレート、飴、ビスケットなど (不測の事態が発生した場合、精神的ストレスで食欲が低下する場合、口にしやすい)
- その他(保存できる)食材…梅干し、ジャム、はちみつ、スキムミルクなど

特に意識したい非常時の備え

水 3リットル×7日分 飲料水として一人あたり1日1リットルの水が必要。調理などに使用する水を含めると、1日3リットル程度備蓄したい。	薬(処方箋も) 病気のある人は常用の医薬品は余裕をもって用意しておきたい。処方箋や母子手帳のコピーを非常持ち出し袋に入れておこう。	ガスコンロ ガスコンロの熱源は食品を温めたり、簡単な調理に必要。ボンベも多めに購入しておく。	生活用品 外出できない、店舗が利用できないことを想定して、ティッシュペーパー、ビニール袋など日用品も日頃から買い置きを。	トイレ 食べる事以上に我慢がききにくいトイレ。便座にかぶせて使えるタイプや固める凝固剤など、使い方を覚えておきたい。
--	---	--	--	--

地域の力で防災を!

大災害では、公的機関の救護・救援がくるまで住民同士の助け合いが必要です。地域の防災訓練に参加して、避難場所や自分の役割を確認し、家族でも非常時を想定して話し合っておきましょう。

2 共助

地域や身近にいる人同士が助け合う行動

7 自助

自らを守る行動

命を守る力、その割合は「自助:共助:公助=7:2:1」と考えられている。

1 公助

国や地方公共団体による行動

自分たちの命は自分たちで守る

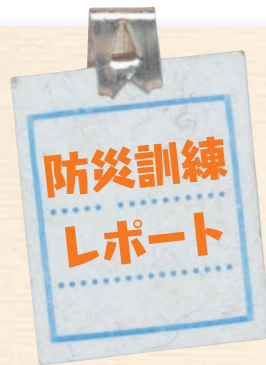
阪神・淡路大震災で助かった人の8割が、自力、または地域の人たちに救助されています。大きな災害では道路の破損や・ライフラインの遮断などで公共の救出活動が進まなくなり、「自助(自分の身は自分で守る)・共助(自分たちの町を守るため力をあわせて助け合う)」が重要になります。普段から近所づきあいを大切にして、地域での協力体制をつくっておきましょう。

1. 自主防災組織の防災訓練に参加

災害時に適度な判断と行動ができるように、定期的に「防災訓練」に参加しましょう。地域の自主防災組織の訓練は、防災知識を身に付けるだけでなく、地域の人たちと顔をあわせて互いのことを知っておく機会にもなります。

訓練のポイント

- 避難場所の確認・避難経路の確認
どこに集まり、どこに避難しなければならないか、避難場所まで安全に移動する経路も知っておく。
- 地域で訓練することで、協力し合って、自分のやるべきことを確認
介護が必要な方を誰がどのように補助して移動するか決めておく。
- 防災資機材の使い方などを学び、いざという時に使えるようにしておく
初期消火の方法や応急処置法を習う。



2. 町を守る活動

私たちの町の防災力を高めるために、地域の実状にあわせたさまざまな取り組みを行っています。

消防団



それぞれ仕事を持ちながら、専門的な防災知識や技能を身につけ、火事や地震、台風など災害から自分たちのまちを守るために訓練や防災啓発活動をしています。

女性防火クラブ

地域内の消火栓の点検や格納庫内への懐中電灯の設置、軽可搬ポンプによる放水訓練、一人暮らしのお年寄り「愛の一声・防火訪問」活動の他、災害時に適切な対処ができるよう、普通・上級救命講習・防災教室の開催など、女性の視点で生活に密着した活動に取り組んでいます。



幼年・少年消防クラブ

一人暮らしのお年寄りに「防火のおたより活動」、冬休みには「わが家の防災点検」、地域で防火の夜回り活動などを実施。中学生は、「普通救命講座」に取り組み、「地域の身近な救命士」としての役割を担っています。



高齢者の多い町だから、家庭・自主防災組織、町の連携が特に重要です

(日頃の地域交流が「共助」の力)

今、災害が起きたらどうするか、その時その瞬間には、なかなか考えがまとまらないものです。日頃から家族や地域で防災について話し合い、また自主防災組織の訓練などから、防災の知識を積み重ねていくことが「平時の備え」となります。

県内で一番高い高齢化率のわが町では、高齢者の避難についても課題となっています。子供から高齢者まで日頃から地域の交流を図ることは、災害が起きた時の一つの「共助」となります。

私たちが生き抜くため、これからの世代につなげていくため、「自助」「共助」の取り組みが大切です。

久万高原町役場 危機管理室長 山口 直樹

防災士の育成に力を入れています

防災士は阪神・淡路大震災後、初動活動段階での自助・共助活動のリーダーを育成するために発足した資格です。防災に関する基礎的な知識や技能を身につけ自主防災組織や事業所などの防災力向上に貢献できる防災士が町内で280人余り(令和2年度現在)。



3. 防災会議を

災害時に家族が離れている場合を想定して、連絡先や集合場所を確認しておきましょう。高齢者・病人・乳幼児のいる家庭は、避難方法も話し合っておきましょう。

- 災害時の連絡先の確認
→災害伝言板を活用できるように
- 避難経路・家族の集合場所の確認
- 家庭の役割分担(火の始末、非常持ち出し品の準備点検・近隣者の救助など)
- 応急手当の仕方

家族・知人との連絡・安否確認は?

電話を使う

携帯電話などはつながりにくくなるので、公衆電話の利用を。インターネット電話のSkype、Twitter、Facebookなどインターネット経由の通信は比較的利用できる通信手段。

災害用伝言ダイヤル「171」を使う

災害発生で通信が難しくなった場合に提供が始まる「声の伝言板」。自宅の電話番号宛に安否を音声で吹き込む。
▶21ページ参照

特設サイトを使う

東日本大震災時、Google社は災害に関する情報を集めた特設サイトを開設。名前や名前の一部を入力すると登録された人の消息確認や生活・交通情報を入手できる。

伝言メモ・書き置き

避難所や外に出かける時には、自宅に伝言を残す。災害時には、避難所などで設置される伝言板に伝言メモを残す。

身に付けておきたい応急手当

まずは、落ち着くことが一番大事。
大きな災害時は救急車がかけつけられないことも考えられます。自分がけがをしてしまった場合、家族やまわりの人がけがをしている場合に備えて、正しい応急手当の方法を知っておきましょう。

(資料提供/日本赤十字社愛媛県支部)



1. いざというときの応急手当

病院に行くまでに応急手当をすることで、けがや病気の悪化を防ぐことができます。

傷・出血 じかに血液に触れないようビニール袋を使用



□出血部分をおおうように
しばらく圧迫
(包帯を少しきつめに巻いてもよい)



□傷口(出血部)を
心臓より高い位置に

手当のポイント

- ・圧迫はしっかりおさえる
- ・細いひもや針金などで血を止めるために縛ったりしない
- ・脱脂綿やティッシュはダメ

やけど



□すぐに流水で冷やす
(できるだけ早く
水道水など清潔な水で)



□すぐに服を脱がせてはダメ
服を着ているときは、
服の上から冷やす

手当のポイント

- ・やけどの範囲と程度を確認
※体の表面積の20~30%
以上のやけどをすると重傷で治療を急ぐ必要があります
- ・水ぶくれはつぶさない

骨折

□全身及び骨折部を安静にする
出血していれば止血を優先



□骨折部位を雑誌や木の枝、ダンボール、新聞などを使って固定する
(肘関節から指先まで)

(おしりからかかとの先までの副子)
ひざと足首、かかとの部分にはやわらかいものを入れる

手当のポイント

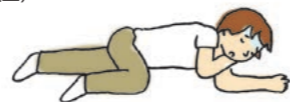
- ・骨折の状況を確認
※皮ふの変色、変形、腫れ、骨が飛び出していないか確認する
- ・包帯は血行を妨げない程度に

□変形した部分を元にもどしてはダメ



寝かせ方

本人の希望する楽な姿勢で安静にすることが大事。
本人に聞くことができないときには傷病者を横向きに寝かせ、上側の手の甲に顔を乗せ、上側のひざを約90度曲げ後ろに倒れないようにする。
(窒息しないために有効な回復体位)



2. 命をつなぐ救命処置

けがや病気の中で最も重篤で緊急を要するのは、心臓や呼吸が止まってしまった場合。そばに居合わせた人が、救急隊が到着するまでに心肺蘇生やAEDを用いた救命処置をすることで命を救える可能性は高くなります。

倒れている人を発見したら

- 1 意識の確認** 「大丈夫ですか」と声をかけ、肩をかるくたたく。
反応がなかったり鈍い場合は、協力者を呼び、119番通報とAEDの手配を依頼。
- 2 呼吸をみる** 胸部と腹部の動きを観察する。
- 3 胸骨圧迫** 1. 呼吸をしていなかったら、傷病者の胸の真ん中(胸骨の下半分)に、片方の手のひら基部を置き、その上にもう一方の手を重ねる。
2. 両肘をのびし、垂直に体重をかけて胸骨を少なくとも5cm(成人)押し下げる。
3. 手を胸骨から離さず、速やかに力をゆるめる。毎分少なくとも100回のテンポで、続けて圧迫する。
人工呼吸はできるようであれば、30回の圧迫後行っても可。



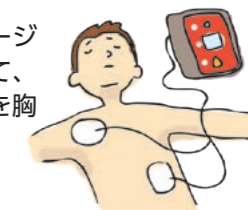
AEDの使い方

AED(自動体外式除細動器)は、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった傷病者の救命率を向上させるので、ためらわずに行動することが重要です。

- 1 電源をON** AEDが到着したら電源を入れる。



- 2 装着** 音声メッセージにしたがって、電極パッドを胸に貼る。



- 3 作動** 心電図の解析が始まったら心臓蘇生を中断する。「電気ショックが必要です」「離れてください」の指示がでたら周囲を確認しボタンを押す。

電気ショック後は、直ちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する。

AEDを設置しています!



緊急事態に備えて、自分の職場や通勤途中のどこにAEDがあるか普段から知っておきましょう。

こんな時はどうしたらいい?

のどに異物がつまった

のどに異物が詰まると、話しかけても返答できない。咳をすることが可能であれば、咳が最も効果的。



背中をたたく

立っているか座っている場合、頭をできるだけ低くし、胸を一方の手で支え、他方の手で左右肩甲骨の間をたたく。

寝ている場合

横向きにし、胸と上腹部を大腿部で支え、左右肩甲骨の間をたたく。



熱中症

夏や梅雨どきに注意。屋外以外にも、車中、暑い室内も危険。意識がない場合は、一刻も早く医療機関へ運ぶ。

涼しい環境に避難させる

風通しのよい日陰やクーラーのきいている室内に。

衣服をゆるめ、体を冷やす

氷嚢などが準備できれば、首・脇の下・太ももの付け根などにあてる。

意識があり、吐き気や嘔吐がなければ水分・塩分を補給する(スポーツドリンクを飲ませるなど)

もっと詳しく応急手当を学びたい方は消防署・救急係まで

避難場所への避難ポイント

災害が発生し、家屋内にとどまることが危険な状態になった場合、速やかに避難します。避難が遅れると、命に関わります。特に高齢者や子どものいる家庭は、早い段階から避難するようにしましょう。

1. 避難の判断とタイミング

避難情報には、久万高原町が出す避難情報と、気象庁・愛媛県が出す防災気象情報があります。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動をとりましょう。警戒レベルを5段階で示していますが、この順番通りに発令されるとは限りません。高齢の方など避難に時間がかかる方は警戒レベル3、全員が警戒レベル4までの避難を目指しましょう。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{*1}
~~~~~ (警戒レベル4までに必ず避難!) ~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 ^(注)
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難 ^{*2}	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

^{*1} 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。  
^{*2} 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。  
(注) 避難指示は、現行の避難勧告のタイミングで発令します。

### 久万高原町からの避難情報は

- 住居が倒壊する危険があるとき
- がけ崩れ、地滑り、土石流などの恐れがあるとき
- 近隣で火災が発生し、延焼の恐れがあるとき
- 状況から避難の必要があると判断したとき



避難が必要な時は、防災行政無線や消防団車両を利用してお知らせします。

## 2. 避難時のポイント

避難する時は、自宅から火災が発生しないよう、火の元には細心の注意を払うこと。また災害時の屋外は危険なので、安全に避難できるいくつかの道順や方法を確認しておきましょう。

### 避難時のポイントは

- 軍手をして、ヘルメット(防災ずきん)をかぶる
- 非常持ち出し袋を背負う※両手がかえるように
- 貴重品を家に残さない
- ケガをしないよう長袖・長ズボン
- 外出中の家族のために、避難先を書いたメモを残す

### 災害時の情報収集方法

#### 1. ラジオ

停電した場合でも、電池や手回し充電できるラジオは、持ち運びがしやすく、比較的価格も安いので普段から枕元に用意しておきたい。

#### 2. SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

東日本大震災では、携帯でのSNS通信が利用可能で、実際に安否確認や救助要請、物資提供の呼びかけなど、情報伝達に活用されました。

#### 3. 携帯電話の緊急速報メール(エリアメール)

携帯電話事業者(NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイル)が提供するサービスで、緊急時に気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報などを発信。

#### 4. インターネットの特設サイト

行政機関の災害対策ページなどから現状の情報収集ができる。衛星を利用したインターネットは、災害時に孤立する可能性のある集落の通信手段としても有効。

## 避難所、避難地一覧

久万地区	住所	連絡先
1. 明神小学校	東明神甲698-1	21-1058
2. 創作館	西明神315	21-2248
3. 入野福祉館	入野277	21-1744
4. 久万中学校	久万600	21-0013
5. 久万分館	久万483	21-0236
6. 久万町民館	久万188	21-0139
7. 産業文化会館	久万188	21-2061
8. 松山市農協久万支所	久万1416	21-1245
9. 久万保健センター	久万65-1	21-2700
10. ささゆり荘	菅生2-626	21-0083
11. 久万小学校	上野尻甲846	21-1122
12. 上浮穴高等学校	上野尻甲486	21-1205
13. 野尻分館	上野尻甲190	21-1889
14. B&G海洋センター	菅生2-1644-1	21-2808
15. 久万公園グラウンド	菅生2-1644-1	避難地
16. 畑野川小学校	上畑野川甲521-1	41-0203
17. ふるさと旅行村	下畑野川乙488	41-0711
18. 直瀬住民センター	直瀬甲2881-1	31-0453
19. 直瀬小学校	直瀬甲3974-3	31-0040
20. 下直瀬ふれあい館	直瀬甲5104	31-0452
21. ほたる交流館	二名甲291-1	
22. 二名体育館	二名甲2361	
23. 父二峰小学校	露峰甲364	21-1633
24. 落合ふれあい館	露峰甲2519-4	21-2190
25. 道の駅「天空の郷さんさん」	入野1855-6	21-3400
26. 久万の里	菅生3-580-24	21-1000
27. サマリアの家	上野尻甲623-2	21-2233
28. メサイア	上野尻甲535	21-3383
29. シオンの家	上野尻甲535	21-0635
30. ぶどうの樹	上野尻甲535	21-1677

面河地区	住所	連絡先
1. 前組分館	前組1773	58-2853
2. 相の峰分館	相の峰342	58-2489
3. 笠方分館	笠方1923-1	58-2745
4. 面河小学校	渋草2314	58-2043
5. 面河住民センター	渋草2431	58-2111
6. おもご高齢者生活支援ハウス	渋草2310	50-1833
7. 城山分館	本組956	58-2842
8. 中組分館	中組2424	58-2798
9. 若山分館	若山703-1	58-2675
美川地区	住所	連絡先
1. 美川南分館	日野浦3376	
2. 美川農村環境改善センター	上黒岩2923-1	56-0211
3. 社会福祉協議会本所	上黒岩2920-1	56-0750
4. 美川小学校	大川4333	56-0693
5. 美川中学校	上黒岩2890	56-0134
6. 道の駅「みかわ」	上黒岩2840-1	56-0330
7. 黒藤川分館	黒藤川1086	56-0834
8. 二箇分館	黒藤川6332	57-0938
9. 仕七川小学校	東川207-1	57-0381
10. 東川健康増進センター	東川4900-1	57-0382
柳谷地区	住所	連絡先
1. 柳谷小学校	柳井川3542	54-2115
2. 柳井川集会所	柳井川786-2	54-2160
3. ふるさと創造の館こかげ	柳井川934-1	54-2314
4. 下四組集会所	西谷11748	
5. 西谷分館	西谷10203-1	55-0022
6. 古味多目的施設	西谷3440	
7. 中津分館	中津4726	54-2759
8. 旭健康増進センター	中津4346	54-2947

自分や家族にとって重要な場所は、本冊裏表紙に書き出しておきましょう。

# いざというときの連絡先

□ 消防(火災・救急・救助) **119**  
 □ 警察(緊急) **110**

□ 災害用伝言ダイヤル **171**

施設名	所在地	電話
久万高原町役場(災害対策本部)	久万 2 1 2	21-1111
久万高原町消防本部・消防署	下野尻甲 3 3	21-2411
久万高原町消防署美川支署	上黒岩 2923-1	56-0303
久万高原警察署	久万 5 4 2 - 4	21-0110
【国道】国土交通省松山河川国道事務所松山第一国道維持出張所		089-956-0326
【県道】久万高原土木事務所	久万 5 7 1 - 1	21-1210
【電力】四国電力送配電(株) 松山支所伊予営業所久万サービスセンター		089-941-6152
		※停電情報【フリーダイヤル】0120-410-570

## 医療機関

施設名	所在地	電話
久万高原町立病院	久万 6 5	21-1120
直瀬クリニック	直瀬甲 2888-1	31-0011
畑野川クリニック	下畑野川甲 370-2	41-0020
父二峰診療所	露峰甲 415-2	21-1637
西本医院	久万 2 9 2 - 6	21-1135
うつのみや内科	久万 2 0 6 - 5	21-3353
面河診療所	渋草 2 4 7 4	58-2016
みかわクリニック	上黒岩 2 9 2 0	56-0908
吉村内科	柳井川 8 4 9 - 2	54-2050

## 役場・支所

施設名	所在地	電話
久万高原町役場	久万 2 1 2	21-1111
面河支所	渋草 2 4 3 1	58-2111
美川支所	上黒岩 2923-1	56-0211
柳谷支所	柳井川 9 5 0	54-2121

※災害直後は被災地への電話が殺到するため、つながりづらくなります。被災地内の緊急電話がスムーズに行われるよう、不急な電話やリダイヤルを控え、暫く経ってからおかけ直してください。

## わが家の避難場所連絡先リスト

家族全員が分かるような集合場所を設定し、書き込んでおきましょう。

避難場所		家族が離ればなれになった時の集合場所	
家族の名前	連絡先(勤務先・学校など)	携帯番号	備考
緊急連絡先	電話番号	ご近所さんのお名前	電話番号
病院( )			
ガス会社			
電気会社			
水道			